


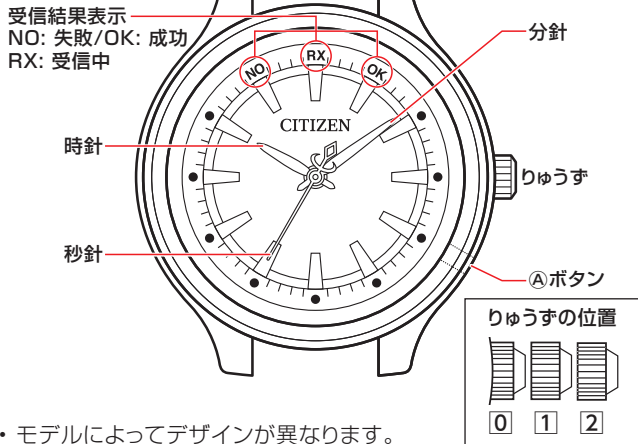
# H03\* / H05\* 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

 H03\* / H05\*取扱説明書

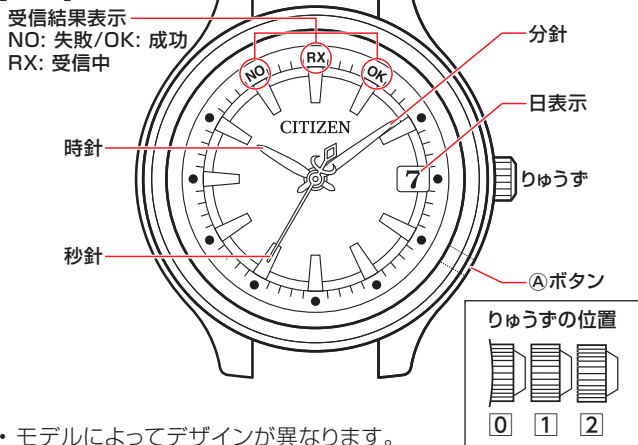
## 各部の名称

### [H03\*]



• モデルによってデザインが異なります。

### [H05\*]



• モデルによってデザインが異なります。

## 現在の充電量を確認する

1. りゅうずの位置を0にする
2. Aボタンを押す
  - 秒針が15秒ぶん戻る動きをしたら、充電が必要です。
  - 秒針は、「OK」または「NO」を指しますが、これは充電のようすとは関係ありません。
3. Aボタンを押して、終了する
  - 現在の時刻に戻ります。
  - ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

## 受信結果を確認する

- この時計は、日本の標準電波を毎日午前2時に受信し、時計 / カレンダーを自動で合わせます。午前2時に受信できなかったときは、午前4時に再度受信を試みます。
1. りゅうずの位置を0にする
  2. Aボタンを押す
    - 秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

表示	受信結果
OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

- 受信に失敗している場合は、「電波を手動で受信する」の手順に従い、電波受信をしてください。
- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じます。

### 3. Aボタンを押して、終了する

- 現在の時刻に戻ります。
- ボタンを押さなくても、約10秒すると自動で現在の時刻に戻ります。

## 電波を手動で受信する(強制受信)

- 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

### 1. りゅうずの位置を0にする

### 2. Aボタンを2秒間以上押し続ける

- 秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。受信が終了すると、秒針が通常の動きに戻ります。
- 受信に成功した場合: 修正された時刻を表示します。
- 受信に失敗した場合: 時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります。
- 受信を中断したいときは、各針が高速で回り始めるまでAボタンを押し続けます。

## 時差機能を使う

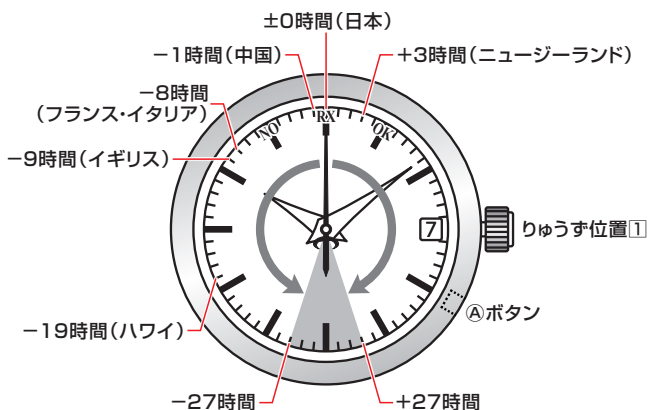
- 時差を設定することで、時刻合わせをすることなく、他の地域の時刻を表示させることができます。
- 日本時間を基準に、±27時間の範囲(1時間単位)で時差を設定します。

### 1. りゅうずの位置を1にする

- 秒針が現在の時差設定を指します。

### 2. Aボタンを押す

### 3. りゅうずを回して、時差を設定する



- 秒針が0秒を指しているときが、時差±0です。

### 4. りゅうずの位置を0にして、終了する

## 時刻とカレンダーを手動で合わせる

### [H05\*]

- この時計のカレンダーは、うるう年を含む2100年2月28日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

#### 1. リューズの位置を②にする

秒針が30秒を指します。

#### 2. ④ボタンを押す

秒針が0秒を指します。

- ボタンを押す毎に、「分針」→「時と日表示」→「月と年」と修正できる項目が切り替わります。

#### 3. リューズを回して、分を合わせる

- リューズを素早く回転させると、分針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

#### 4. ④ボタンを押す

時と日表示が合わせられるようになります。

#### 5. リューズを回して、時と日表示を合わせる

- リューズを素早く回転させると、時針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

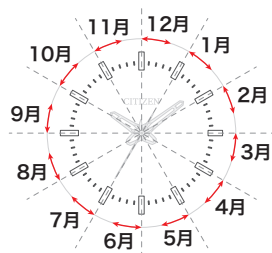
#### 6. ④ボタンを押す

年と月が合わせられるようになります。

現在設定されている年と月が、秒針で表示されます。

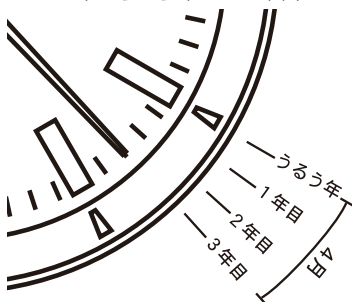
#### 7. リューズを回して、年と月を合わせる

- 月は、時刻の「時」の範囲で示されます。



- 年は、うるう年からの経過年数で表示され、各月の範囲内の秒針の位置で示されます。うるう年からの経過年については、サポートの「仕様・機能購入」から、うるう年経過年早見表をご参照ください。  
<http://citizen.jp/cs/guide/index.html>

(例)2015年4月に合わせるときは  
4月→4時の範囲  
2015年→うるう年から3年目



- リューズを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

#### 8. 時報に合わせて、リューズの位置を①にする

秒針が動きはじめます。

### [H03\*]

#### 1. リューズの位置を②にする

秒針が30秒を指します。

#### 2. ④ボタンを押す

秒針が0秒を指します。

- ボタンを押す毎に、分針と時針の修正が切り替わります。

#### 3. リューズを回して、分を合わせる

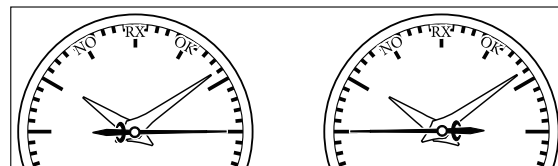
- リューズを素早く回転させると、分針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

#### 4. ④ボタンを押す

秒針が15秒または45秒を指します。

#### 5. リューズを回して、時を合わせる

午前と午後の違いは秒針の位置で区別します。



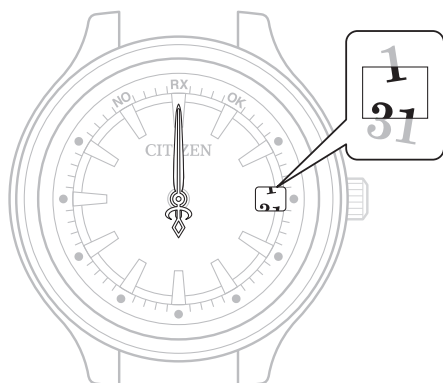
- リューズを素早く回転させると、秒針が連続して動きます。リューズを少し回すと止まります。

#### 6. 時報に合わせて、リューズの位置を①にする

秒針が動きはじめます。

## 基準位置を確認する

1. リューズの位置を①にする
2. 秒針が高速で動き始めるまで、**Ⓐ**ボタンを7秒間以上押し続ける  
各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
  - **正しい基準位置:**  
すべての針が12時位置、  
日表示が「31日と1日の間」(H03\*は除く)
 現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。
3. **Ⓐ**ボタンを押して、確認を終了する  
時刻表示に戻ります。



## 基準位置を修正する

1. リューズの位置を①にする
2. **Ⓐ**ボタンを7秒間以上押し続ける  
各針 / 表示が動き出し、現在の基準位置が表示されます。
3. リューズの位置を②にする  
時計がわずかに動きます。
4. リューズを回して、時針を「12時」、日表示を「31日と1日の間」に合わせる
  - リューズを素早く回転させると、針が連続して回転します。  
リューズを少し回すと止まります。
  - 日表示のないH03\*は、時針のみを合わせます。
5. **Ⓐ**ボタンを押す  
分針と秒針が動きます。
6. リューズを回して、分針を「0分」、秒針を「0秒」に合わせる
  - リューズを素早く回転させると、分針と秒針が連続して回転します。リューズを少し回すと止まります。
  - 秒針と分針は連動します。
7. リューズの位置を①にする
8. **Ⓐ**ボタンを押して、終了する  
時刻表示に戻ります。

## オールリセットを行う

1. リューズの位置を②にする
2. **Ⓐ**ボタンを9秒間以上押し続ける  
時針、分針、秒針がわずかに動いてオールリセットされます。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置を合わせ直してください。  
その後、手動で電波を受信して(強制受信)、時刻とカレンダーを合わせ直してください。